

ブラウザ関連ライブラリを使用して、認証画面にログインするサンプルシナリオ

ブラウザ関連ライブラリを使用して、認証画面にログインするサンプルシナリオとなります。
サンプルシナリオを通して、ブラウザ関連ライブラリの利用方法学習に利用することができます。

サンプルシナリオ概要

目次
はじめに
本サンプルシナリオの概要
使用するWinActorモジュール
動作確認環境
制約事項
本サンプルシナリオの使い方
Step 1. 動作環境の確認
Step 2. サンプルシナリオの読み込み
Step 3. 動作に必要な変数を設定
Step 4. サンプルシナリオの実行
Step 5. サンプルシナリオの終了後の確認
トラブルシューティング
サンプルシナリオ解説
1. ブラウザの変更
2. 値の設定
3. クリックの設定
4. XPathの取得
変更履歴

はじめに

ブラウザ関連ライブラリを使用して、認証画面にログインするサンプルシナリオ(以降、本サンプルシナリオ)について説明します。

本サンプルシナリオの概要

本サンプルシナリオは、以下の処理を行います。

ブラウザの種類を指定して新規に起動します。

URLを指定してログインする認証画面を開きます。

ユーザーIDのテキストボックスに変数のユーザIDで指定した値を転記します。

パスワードのテキストボックスに変数のパスワードで指定した値を転記します。

送信するボタンをクリックします。

対象画面の認証処理を実行し、ログイン完了画面に遷移します。

使用するWinActorモジュール

本サンプルシナリオでは、以下のWinActorモジュールを使用します。

01_WinActor制御/02_シナリオ制御/シナリオ停止.ums6

01_WinActor制御/08_実行ログ/ログメッセージ出力.ums6

23_ブラウザ関連/ブラウザ起動.ums6

23_ブラウザ関連/ページ表示.ums6

23_ブラウザ関連/値の設定.ums6

23_ブラウザ関連/クリック.ums6

動作確認環境

本サンプルシナリオは以下の環境で動作確認しています。

Windows 10

WinActor 6.3.0、7.1.0

Chrome 85.0

Edge 44.1

制約事項

本サンプルシナリオは、認証画面のログイン成功/失敗検知には対応しておりません。

本サンプルシナリオは、JavaScriptの設定が無効の場合には対応しておりません。

本サンプルシナリオの使い方

本サンプルシナリオの実施方法は以下の通りです。

Step 1. 動作環境の確認

WinActorのブラウザ関連ライブラリを使用して、認証画面にログインするサンプルシナリオです。

手元のPCで動作が確認できるように、ご利用されるブラウザがインストールされているか、確認してください。

Step 2. サンプルシナリオの読み込み

ダウンロードしたサンプルシナリオのZIPファイルを展開し、展開したフォルダに含まれている本サンプルシナリオをWinActorで読み込みます。

Step 3. 動作に必要な変数を設定

本サンプルシナリオを実行するために必要な値を、変数一覧で設定します。

事前に設定が必要な変数は下記に記載しております。

URL

操作対象のURLを指定してください。※添付のサンプル(login.html)など、入力ファイルをウェブページとして使用する場合、絶対パスで指定してください。

例) C:¥Sample¥login.html

ユーザーID

指定したWebページで使用するログインIDを指定してください。

例) user

パスワード

指定したWebページで使用するパスワードを指定してください。

例) pass

XPath1

指定したWebページのログインIDを入力する、入力欄のXPathを指定してください。

例) /html/body/form/p[1]/input

XPath2

指定したWebページのパスワードを入力する、入力欄のXPathを指定してください。

例) /html/body/form/p[2]/input

XPath3

指定したWebページのクリックする、ボタンのXPathを指定してください。

例) /html/body/form/p[3]/input

XPathの取得方法はサンプルシナリオ解説の「[4. XPathの取得](#)」を参照してください。

変数一覧					
グループ名	変数名	現在値	初期化し...	初期値	コメント
変更可能変数	URL				【必須】任意のURLを初期値に設定してください。
	ユーザーID			user	【必須】初期値:user ※初期値を変更する場合は、指定したWebページで使用するログインIDを指定してください。
	パスワード			pass	【必須】初期値:pass ※初期値を変更する場合は、指定したWebページで使用するパスワードを指定してください。
	XPath1			/html/body/form/p[1]/input	【必須】指定したWebページのログインIDを入力する、入力欄のXPathを指定してください。
	XPath2			/html/body/form/p[2]/input	【必須】指定したWebページのパスワードを入力する、入力欄のXPathを指定してください。
	XPath3			/html/body/form/p[3]/input	【必須】指定したWebページのクリックする、ボタンのXPathを指定してください。
変更不要変数	ブラウザ				
	エラーメッセージ				ブラウザ起動に失敗しました。指定した変数一覧の値に誤りがあります。エラーが出力された際に表示されます。

Step 4. サンプルシナリオの実行

WinActorで本サンプルシナリオを実行します。

ログインが完了すると、本サンプルシナリオは終了します。

Step 5. サンプルシナリオの終了後の確認

認証画面からログイン完了画面に遷移していることを確認します。



シナリオ実行後の画面

トラブルシューティング

本サンプルシナリオでは、変数指定が不十分であった場合、エラーメッセージが出力されます。

詳細については、エラーメッセージ一覧 (https://winactor.biz/samplescenario/errmsg_10928.html)を参照してください。

サンプルシナリオ解説

本サンプルシナリオで使用している実装テクニックについて解説します。

1. ブラウザの変更

シナリオ上、以下のライブラリにて起動するブラウザの変更設定を行っています。

「ブラウザ起動ライブラリ」で起動するブラウザの変更設定



ブラウザの変更

ブラウザ起動ライブラリの設定値の例は、下記の画像の通りです。

プロパティ - スクリプト実行

名前	ブラウザ起動
コメント	

設定 スクリプト 注釈 バージョン情報

以降のシナリオ実行の中で、
操作対象のブラウザを[ブラウザ名]で指定します。
[ブラウザ種類] : "chrome"、"edge"、"firefox"の中から選択します。
"chrome"の場合、Google Chromeが起動します。
"edge"の場合、Microsoft Edgeが起動します。
"firefox"の場合、Firefoxが起動します。
[待機時間(秒)(任意)] : 以降のシナリオ実行の中で、
Webページの要素を検索する時間です。
未設定の場合、10秒となります。

ブラウザ名 ブラウザ

ブラウザ種類 **chrome**

待機時間(秒)(任意) 値⇒10

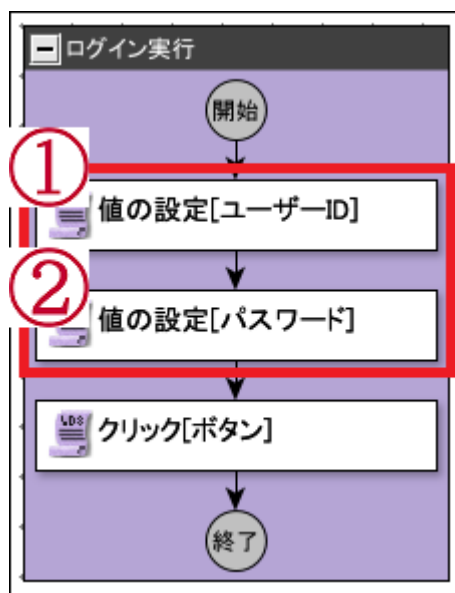
OK キャンセル

ブラウザの変更

2. 値の設定

シナリオ上、以下のライブラリにてWebページ内のテキスト要素に値の設定を行っています。

- ①「値の設定[ユーザーID]ライブラリ」でWebページ内のテキスト要素にユーザーIDの設定
- ②「値の設定[パスワード]ライブラリ」でWebページ内のテキスト要素にパスワードの設定



値の設定

値の設定ライブラリの設定値の例は、下記の画像の通りです。

プロパティ - スクリプト実行

名前	値の設定[ユーザーID]
コメント	

設定 スクリプト 注釈 バージョン情報

Web ページ内のテキスト要素に値を設定します。

ブラウザ名：操作するブラウザのブラウザ名を設定します。
「ブラウザ起動」で設定した[ブラウザ名]と対応します。

XPath：値を設定する要素のXPathを設定します。

設定する値：直接入力、または、変数で設定します。

ブラウザ名 ブラウザ

XPath XPath1

設定する値 ユーザーID

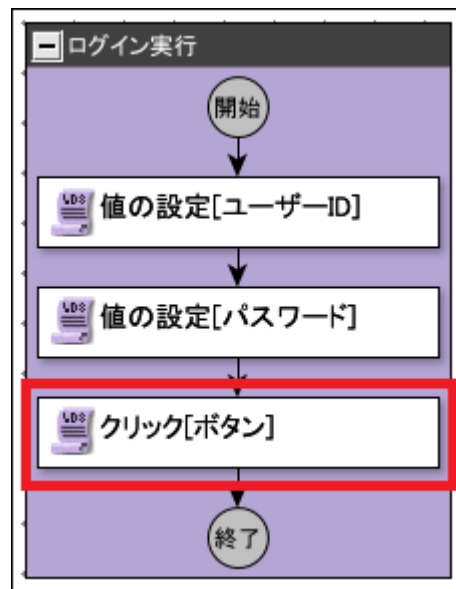
OK キャンセル

値の設定

3. クリックの設定

シナリオ上、以下のライブラリにてWebページ内の要素(ボタンやリンク等)の設定を行っています。

「ボタンのクリックライブラリ」でWebページ内の要素(ボタンやリンク等)の設定



クリックの設定

クリックの設定ライブラリの設定値の例は、下記の画像の通りです。

プロパティ - スクリプト実行

名前

クリック[ボタン]

コメント

設定

スクリプト

注釈

バージョン情報

Web ページ内の要素 (ボタンやリンク等) を指定しクリックします。

「ブラウザ名」: 操作するブラウザのブラウザ名を設定します。
「ブラウザ起動」で設定した[ブラウザ名]と対応します。
[XPath] : クリックする要素のXPathを設定します。

ブラウザ名

ブラウザ

XPath

XPath3

OK

キャンセル

クリックの設定

4. XPathの取得

値の設定ライブラリやクリックライブラリで指定する、
Web ページ内のテキスト要素やボタン、リンク等を設定する要素の**XPathを取得**します。
詳細については、**ブラウザ操作シナリオ作成マニュアル.pdf**の**XPathの取得手順**を参照してください。

変更履歴

版数
1.0版
日付
2020/9/15
修正内容
初版

版数
1.1版
日付
2024/1/11
修正内容
<div><div>・注意事項を削除</div><div>・ファイル名を「SS2009_10928_LoginOnAuthenticationPage_1.0.1.zip」に変更</div></div>